

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	34800	幼稚園運営助成事業	予算科目	会計	一般	款	10	項	1	目	2	事業種別	担当班	庶務班
基本施策		7		子育て支援の充実	根拠法令	旭市私立幼稚園教材費補助金交付要綱								☒ 主な事業		
施策の展開		15		結婚・子育て環境の整備	戦略事業	83	幼稚園運営助成事業							☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開					戦略事業									☐ 新市建設計画		
														☐ 定住自立圏構想		
														☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 26 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・市内私立幼稚園に対して、子育て支援事業の一環として、幼児教育事業の社会的な重要性を考慮し、幼稚園教育の振興を図ることを目的とする。 ・教材の購入又は維持管理費用の1/2を助成する。限度額は5月1日現在の園児数に、2,000円を乗じた額。 ・対象は旭市内在住園児。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
保護者の幼稚園入園への希望がある中、幼児教育の充実を図る必要があったため、旧旭、海上で実施していたものを合併後も継続して実施することとなった。平成25年度の事務事業評価において、補助金の用途が不明瞭との指摘を受けたため、要綱を制定し、補助の対象を明確化した。	平成26年に根拠法令を制定し、補助の対象を明確化した。園児1人当りの補助額は2,000円から変更なし。(平成5年度から園児1人当り5,000円、平成16年度は園児1人当り3,000円、平成17年度から園児1人当り2,000円)平成29年度から、新制度への移行により対象となる幼稚園が旭幼稚園の1園になる。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
どこまでが教育に資するための教材、維持管理にあたるのか線引きが難しい部分がある。幼稚園からは、幼稚園側の考えが反映されない上、事務についても煩雑となり、使い勝手が悪いとの意見があった。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位	千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 負担金補助及び交付金	0	千円	0	0	0	0	0	0
2. 幼稚園教材費補助金	166	千円	764	736	226	166	200	
事業費計 (A)		千円	764	736	226	166	200	
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位	千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 国庫支出金	0	千円						
2. 都道府県支出金	0	千円						
3. 地方債	0	千円						
4. その他	0	千円						
5. 一般財源		千円	764	736	226	166	200	

前年度増減理由	新制度への移行により、対象幼稚園が減少した。
---------	------------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

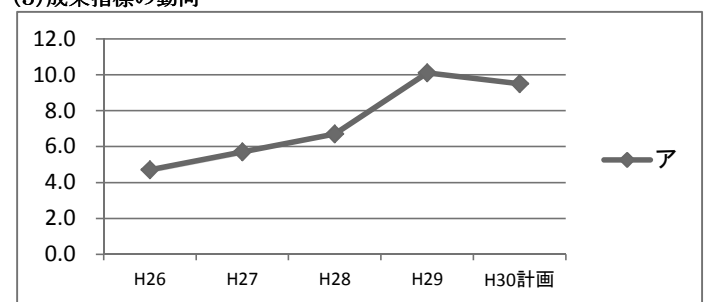
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
手段	29年度実績(29年度に行った主な活動)	補助金交付件数(市内私立幼稚園数)	件	4	4	2	1	1
	私立幼稚園から、補助金交付申請書等の提出を受け、園児数に応じて補助金を交付する。							
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
目的	対象 市内私立幼稚園	教材購入費、維持補修費に占める補助金割合 (補助金額÷[消耗品、修繕、機器・備品費総額]×100)	%	4.7	5.7	6.7	10.1	9.5
	意図 私立幼稚園教育の内容を充実させる。							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			⑦
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
④⑤	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧	(7)		
⑨	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標A	成果指標B	数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標A	成果指標B	数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容	今後の方向性	☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
H30.7			私立幼稚園から、補助金交付申請書等の提出を受け、園児数に応じて補助金を交付する。			